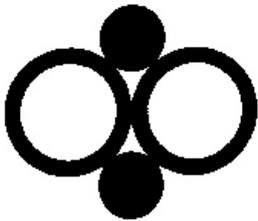


まどか

円な心で集い合い、助け合い、学び合う学校

先日、「生徒会旗・誕生の秘密」を特集したところ、生徒会旗の前に、神町中学校の校章の由来を紹介すべきではないかとの指摘が夢色通信社に届いた。そこで、今日は神町中学校の校章の由来を丹念に取材し報告書にまとめた。

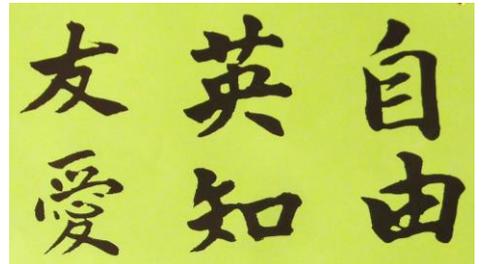
報告書



神町地区の主な果樹である「りんご」（左右に並ぶ大きな円）、と「さくらんぼ」（上下に並ぶ小さな円）を表している。また、全体のデザインは、中学校の「中」の文字をイメージして図案化された。円な心で集い合い、助け合い、学び合うことの喜びを表現している。なお、校旗に使われている赤色はパーミリオンとよばれ、さくらんぼが朝の露（つゆ）に濡（ぬ）れ、朝日を受けて輝いている様子を表している。

さらに、夢色通信社では令和2年度神町中学校の入学式における校長先生の式辞をひそかに入手した。神町中学校の「校訓」にかかわる話があったので、紹介しておきたい。

神町中学校の校訓は、「自由」「英知」「友愛」です。「自由」とは、「生きたいように生きるための力を育てる」という意味です。これから、どんな人生を歩んでいきたいのか、「自由」の文字を見ながら、3年間考え続けて下さい。一方で、自分が自由であるためには、他人の自由を尊重し差別のない社会、平和な世界を築いていかなければなりません。「自由」を得るために、「英知」・知識や知恵を学び、「友愛」・相手の立場に立って物事を考える力を養っていくのです。中学校の勉強や部活動を通して「英知」と「友愛」を身につけ、「自由」な社会を築く人に育って欲しいという願いが込められているのです。



今日から皆さんは、この神町中学校で新たな物語を創っていくことになります。主人公は、あなた自身です。毎日が1ページ。楽しい1ページになる時があれば、大変な1ページになる時もあるかもしれません。でも、心配はいりません。神町中学校の先輩、地域の方、先生達が皆さんを全力でサポートします。物語をうまく進めていくための魔法の言葉が、“笑顔”と“チャレンジ”です。マイナスのことばかり考えていては、物語は前に進みません。お互いに笑顔で協力していくことで、物語は前へ進んでいくのです。また、いろいろなことに「チャレンジ」することも大切です。「やってみよう」という気持ちを大切に、失敗を重ねながらも一生懸命取り組んでいる人にこそ新しい道が開けるのです。ドキドキの部分も大きいとは思いますが、失敗を恐れずに、学び合い支え合いながら、これから一緒に、素敵な物語を創っていきましょう。